

We Love Todai Pips !!

留学生との交流を通じて、地域の国際化を促進



ブラジル、フィンランド、イタリア、中国、マレーシア、カナダ、インド・・・東京大学柏キャンパスには、様々な国から来た留学生が在籍し、研究活動を行っています。キャンパスがある千葉県柏の葉地区は、2008年に策定された「柏の葉国際キャンパスタウン構想」に基づき、国際的な街づくりが進む場所。その象徴として、日本人学生、留学生、地域住民の3者の交流が広がっています。

留学生と地域を結ぶ

笹の葉に吊り下げられた短冊を見ながら、浴衣姿で談笑する日本人とフィンランド人とインド人—これは、2011年7月に柏の葉地区で行われた「TANABATA&Candle Night Party」のひとつ。東京大学柏キャンパスの学生団体「We Love Todai Pips !!」が主催する、地域の交流パーティーです。

We Love Todai Pips !! は、日本人学生と留学生、さらには地域住民との交流活性化を目的に活動しています。活動の中心は、年4回のパーティー開催。夏には七夕、秋にはハロウィン、冬にはクリスマス、春には歓送迎会を実施しています。

地域貢献で受賞

東京大学柏キャンパスには、現在約220名の留学生が在籍しています。2009年には留学生や研究者が居住するインターナショナルロッジも完成し、約140戸の住宅が整備されました。

住みなれない異国で暮らす留学生の支援に向け、大学では「国際センター柏オフィス」を設立し、奨学金などの手続きから生活情報の提供まで様々な支援を行っています。

Todai Pipsは、学生レベルでも留学生との交流を活性化させようと、日本人学生から留学生に参加を呼び掛けて2008年7月に発足しました。

活動の特徴は、学内に留まらず、地域

を巻き込んだ展開をしていること。柏の葉地区の住民サークルが集まる「まちのクラブ活動」のネットワークに参加し、留学生と地域住民の橋渡し役を担っています。地域内の認知は高く、開催するパーティーでは、学生と地域住民を合わせて毎回100人程度が参加しています。

その功績は高く評価され、2010年には東京大学新領域研究科長賞の地域貢献部門を受賞しました。



まちのクラブ活動のひとつである「柏の葉ピクニッククラブ」と連携して開催したピクニック。どちらかが「お客さん」になるのではなく、留学生と地域住民が一緒に食卓を囲む。

We Love Todai Pips !!

言葉の壁を超える工夫

冒頭で紹介した七夕&キャンドルナイトパーティーも、まちのクラブ活動の「柏の葉エコクラブ」と共催しました。エコクラブは、住民同士で楽しみながらエコな生活を実践するためのクラブ。今回は、廃油を使ってキャンドルを手作りし、会場の装飾として用いました。

パーティーでは、毎回日本人と留学生がスムーズに交流できるような仕掛けを用意します。例えば、会話のきっかけ作りとして、料理の得意な留学生は母国の名物料理を持ち寄ります。食事にはその国の文化がよく表れるため、国際交流には最適な話のテーマとなります。また、できるだけ言葉の壁が交流の妨げとならないよう、言葉を使わない簡単なゲームも行います。少しでも意思疎通が図れると、言葉が通じなくてもその場の楽しさを共有できるようになり、コミュニケーションが活発になってくるのだとか。

パーティーに参加したフィンランド出身の留学生JUHO SIIVOLAさんは、「普段大学では、研究室の人との交流がほとんど。Pipsでは、それ以外の人と出会うことができると楽しい」と笑顔です。

課題は規模の拡大

活動の課題は、留学生の参加が伸び悩んでいること。現在参加する留学生は20人程度で、まだまだ増やしたいと考えています。中心メンバーとして企画運営を行う岸真代さんは、「海外の人は社交的でパーティー好きという印象がありますが、実際はそうとは限りません。いきなり知らないパーティーに行くことは、日本人と同じように不安だったり怖かったりします。こちらから積極的に話しかけることで、少しでもサポートしたい」と話します。

日本語を話せる留学生は少ないこともあり、興味はあっても参加には二の足を踏むことが多いそう。安心して来てもらうために必要なことは、コミュニケーション



パーティーには、年齢も国籍も関係なく約140人が参加。留学生には浴衣のレンタルを行い、織姫と彦星の七夕伝説は英語で紹介した。



同じくまちのクラブ活動の「柏の葉フラダンスクラブ」も参加し、演技を披露。見て楽しめるダンスは、日本語の分からない留学生にも好評。

の回数を増やし、気軽に参加しやすい状況にすること。今後は誕生会などの小さなパーティーを数多く開催して、交流の機会を増やしていく計画です。

We Love Todai Pips !! へのお問い合わせ先
[MAIL] todai_pips@yahoo.co.jp
[WEB] <http://www.machino-club.com/>

キーパーソン・トーク



中村 尚志 氏
We Love Todai Pips !! 代表
東京大学大学院新領域創成科学研究科 社会文化環境学専攻

留学生と接していると、様々な気付きがあり、自分の世界が広がる楽しみがあります。例えば、私はこれまであまり気にせず「We」という主語を使っていたのですが、ある時イタリア人の留学生に「あなたの言うWeとは誰なの？」と指摘されました。日本にいと、基本的に同じ文化、同じ価値観の人たちで生活しているので、つい「私たち」という言い方をしてしまうのですが、海外では簡単に「私たち」とくれないことも多いのです。様々な国籍の留学生との交流は、頭では理解している「人はそれぞれ違う」ということを、リアルな経験として実感させてくれます。

国際化をしていく上で重要だと思うことは、違いを認め合うことです。留学生との対話でも、お互いに「理解しよう」と歩み寄る気持ちがなければ、上手くいきません。

例えば、日本ではパーティーの場で不機嫌になってもあまり表には出さないものですが、ある国では当たり前のようにいら立ちを表現する場合があります。それはどちらが良い悪いということではなく、そういう文化だとお互いに理解し合うことでしか関係は作れません。

また、交流のきっかけを作りだすことも重要です。きっかけがないと、どうしても居心地の良いコミュニティだけで完結しがちになってしまい、交流は広がっていきません。幅広い団体の取り組みと連携して、地域と留学生が交流するきっかけを増やしていきたいです。

今後は、地域住民の自宅で、ホームパーティーを開催するなどより地域に根付いた活動を行っていきたくて考えています。柏の葉の住民は社交的な方がとても多いので、名乗り出てくれる方がいらっしやると期待しています。

□編集後記□

柏の葉地区では、今後駅前に東京大学の研究施設やホテルができ、ますます居住者・来街者の国際化が加速します。日本だけではなく世界中の人にとって住みやすい街、過ごしやすい街を目指したいですね。私はまず、英語の勉強から。(蛭川)

●このニュースレターに関するお問い合わせ先

柏の葉アーバンデザインセンター (UDCK) 広報担当 小林、蛭川
〒277-0871 千葉県柏市若葉184-1柏の葉キャンパス149街区13
TEL 04-7140-9686 FAX 04-7140-9688
E-MAIL ma-kobayashi@udck.jp WEB <http://www.udck.jp>

柏の葉
アーバン
デザイン
センター

UDCK